

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(1/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所	⑤実施状況			⑥R3年度の主な事業内容 (未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考	
				未着手 (予定年度)	実施中	完了				
重点施策1 活躍の場づくり (学びと遊びのまちへ)	地域課題を解決するための活動支援(市民活動・起業支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 現状・課題、及び施策の展開方向2 協働事業の推進		○		犬山市協働プラザ「わんまる一む」にて、相談事業、交流スペースの運営、地域資源バンクの運用、フューチャーセッション@犬山の開催などの活動支援、協働推進事業について、コロナ禍への対応及び前年度の経験を踏まえながら、事業を実施した。	地域協働課		
		063 コミュニティ活動の支援	P71 現状・課題、及び施策の展開方向2 コミュニティ組織の育成		○		市民活動支援条例の改正で、地域活動の支援も加えることから、地域コミュニティ等から意見を徴収し、地域活動の定義や役割、支援のあり方などの検討を行った。	地域協働課		
		112 中小事業者の育成	P89 施策の展開方向3 中小事業者の育成		○		平成30年度に創設した産業振興補助金や商工会議所と連携した小規模事業者設備投資補助金、相談から専門家の支援までを一連で支援する事業計画支援事業により、中小事業者への支援に取り組んでいる。	産業課		
	感性を育む学びの場づくり (授業改善・犬山の特性を活かした学びのまち実現)	352 義務教育の充実	P183 施策の展開方向1 特色ある学校づくり		○		各学校が地域の特色を活かした教育活動や、子どもの実態に即した教育活動を展開している。市内の学校間で特別支援学級の交流をしたり、特別支援教育支援員や介助員を配置したりして、特別支援教育の充実を進めている。	学校教育課		
		361 生涯学習機会の充実	P185 現状・課題、及び施策の展開方向2 次代を担う子どもや若者を対象とした事業の充実		○		平成14年度より、土曜日を中心とした学校休業日を利用した、学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの学習環境を整備し、体験活動を通じて学ぶ喜びを感じ、自主的に学ぶ気持ちを育てる『子ども大学』を実施している。	文化スポーツ課		
		381 歴史・文化財の理解と意識の高揚	P196 施策の展開方向1 犬山の歴史と文化財を知る・学ぶ機会の提供		○		市民総合大学歴史文化学部文化遺産学科として2講座を開催した。 【犬山たび 街道編】3回 受講者数 66名 【いぬやま古墳学】3回 受講者数 58名 犬山城講演会を開催した(犬山市民交流センター)。 受講者数 118名 東之宮古墳シンポジウムを開催した(オンライン)。 受講者数 42名 青塚歴史講座を講座を4回開催した(青塚古墳ガイダンス施設)。 受講者数 延べ110名	歴史まちづくり課		
	「犬山で何かをしたい」人を応援(市民活動支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向1 協働意識の向上と人材育成		○		「フューチャーセッション@犬山」を計8回実施。コロナ禍もあり、基本的にオンライン(Zoom)で実施したが、最後の2回は会場で実施することができた。犬山内外から20代~40代の男女が毎回20名程度参加。	地域協働課		
		まちづくりの担い手育成(若者・女性・シニア)(市民活動支援)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向1 協働意識の向上と人材育成		○		市内在住在勤在学で20代~40代の人による企画提案事業を対象とした未来の人材活躍補助金を運用し、新たに2事業に助成金を交付した。	地域協働課	
		人材バンクの構築・運用と「人・モノ等」のマッチング支援(豊富な地域資源(人・モノ)の活用)	062 市民活動の支援(多様な主体の連携)	P69 施策の展開方向4 人材バンクの構築(活躍の場づくり)		○		「地域資源バンク」事業として、今年度31件の地域資源情報を収集し、活用案件として24件のマッチングをコーディネートした。また、シェアリングエコノミーサービスのポータルサイト「いぬやまでばん」の令和4年度展開に向けて、企画、検討を行った。	地域協働課 企画広報課	
	重点施策2 産業の活性化 (商売繁盛のまちへ)	新たな交流拠点の形成(駅設置の可能性検討ほか公共交通の充実)	091 新たな交流拠点の形成	P82 基本施策9		○		平成29年度に「新たな都市拠点及び交流エリア基本構想」を策定し、基本構想に対するマーケットサウンディングにより民間活力の導入可能性などを調査したうえで、令和元年度に道の駅エリア基本計画を策定。新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、現在事業見合わせ中。	都市計画課 企画広報課 産業課 地域協働課 防災交通課	

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(2/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所	⑤実施状況			⑥R3年度の主な事業内容 (未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手 (予定年度)	実施中	完了			
重点施策2 産業の活性化 (商売繁盛のま ちへ)	魅力ある商業地の整備	111 魅力ある商業地の整備	P87 目指す姿と目標指標、及び施策の展開方向1~3		○		犬山市特産品協会と連携し、市外で特産品のPRを行った。犬山城下町まちづくり協会や犬山まちづくり株式会社などと連携した地域の特色を活かしたイベント等は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により1回のみ開催となった。	産業課 企画広報課	
	地産地消を促進し犬山の特性を活かした施設誘致	104 地産地消の推進	P86 施策の展開方向2 地元農産物の消費促進		○		今井地区で農地のあっせん等の調整をした市内農業法人により、犬山産米の米粉を使用したバウムクーヘンが開発され、令和2年には市内(城下町、橋爪)にて販売開始された。令和3年はさらに、城下町に1店、商業集積ライン(県道一宮犬山線)沿いに1店新規出店され、市内で計4店舗が事業展開されている。	産業課	
	商業集積ラインの設定(買い物利便性向上)	111 魅力ある商業地の整備	P88 重点事業 幹線道路沿いへの商業施設の誘導		○		不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促し、商業施設の誘導につながった。	産業課 企画広報課	
	企業誘致(工業団地の整備、雇用環境の向上)	122 工業用地の確保と企業誘致	P93 施策の展開方向1 工業用地の確保、及び重点事業 工業用地造成事業		○		企業や不動産事業者へ都市計画マスタープランで定める新たな産業用地(産業集積誘導エリア)の情報提供を行い、企業の進出が行われた。	産業課	
		141 雇用環境の向上	P99 施策の展開方向1 雇用の場の確保		○		企業の誘致、流出防止や設備投資への支援等により、企業の基盤強化支援を行った。	産業課	
	時代に合った農業の展開と活性化(農の新たな担い手育成)	102 農業経営の確立	P84 施策の展開方向2 農業の担い手育成		○		農産物付加価値向上補助金を活用し、農産物を加工して販売することで収益確保を図る取組を支援した。また、農業近代化資金等利子補給補助金や、国交付金を活用した強い農業・担い手づくり総合支援事業補助金による担い手支援を実施した。	産業課	
		104 地産地消の推進	P86 施策の展開方向1 農業生産者の育成		○		新規就農補助金を活用し、新しく農業を始める方の支援を行った。また、農業を始めたい方や農作物をつくり販売を目指したい方などを対象にした「チャレンジ農業講座」を開催し、農業生産者技術向上に努めた。	産業課	
	インバウンドに対応する体制の充実(観光施設間の連携等)	131 観光資源の整備・充実	P94 施策の展開方向3 観光地を結ぶ交通体系の整備		○		キャッスルパーキング内に各施設を結ぶ直行バスの拠点を検討しているが、コロナ禍で具現化していない。今後も継続して検討する。平成31年3月から観光タクシーの営業を開始し、観光地を結ぶ交通体系を整えている。R2年3月以降はキャッスルパーキング内に観光タクシー乗り場を常設しさらなる利便性の向上を図っている。R3年度は市内神社仏閣を巡る絵馬タクシーを国の補助を受け民間事業者が試験的に実施したり、コロナ禍でニーズが高まる自転車での来訪を促すため、自転車アプリにコースマップを掲載したりするなど、今後も多様な方法で観光地間を結ぶ取組みを進める。交通渋滞緩和については、キャッスルパーキング及び内田観光駐車場を効率的に案内できるような誘導體制を整えている。また、シェアリングエコノミーの仕組みを活用した駐車場シェアにより繁忙期の駐車場不足に寄与している。	観光課	
		132 観光宣伝・情報発信の充実	P97 施策の展開方向1 観光宣伝・情報発信の充実		○		観光情報の発信は、(一社)犬山市観光協会に委託している「犬山観光情報HP」でイベントや施設の情報など、鮮度と質の高い情報を随時更新しており、誘客に寄与している。「尾張犬山ふるさと市」というオンラインショップも開始し宣伝や発信を強化している。加えてリーフレットやポスターなどの宣伝媒体を適宜展開し、効果的な情報発信・観光宣伝に努めている。TV番組など各種メディアへの露出も随時あり、R3年度は約400の媒体に掲載・放映され犬山を広く周知出来た。また、犬山駅及び犬山遊園駅前に新たに観光案内看板を設置し受け入れ体制と情報発信を強化できた。インバウンドは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受け、令和4年3月時点での需要取り込みは消滅している。今後、コロナが収束していくにつれ、様々な取り組みを復活させ、インバウンド需要の取り込みを図りたい。特に、令和4年3月にホテルインディゴ犬山有楽苑が開業。インバウンドもターゲットとしておりコロナ収束後は更に連携し誘客に努める。	観光課	

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(3/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所	⑤実施状況			⑥R3年度の主な事業内容 (未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手 (予定年度)	実施中	完了			
重点施策3 定住促進 (多様な暮らし ができるまち へ)	既存ストックの活用(空き家、空き地、遊休農地、公共施設等)	281 眠る資源の活用(既存ストック活用)	P158 基本施策28		○		既に構築した民間提案制度に基づく事業者提案を募集するスキームやノウハウを活かして、令和3年度には犬山市民交流センター地下1階(地域協働課)や楽田児童センター2階(子ども未来課)において事業者提案を募集した。 犬山市民交流センター地下1階については、2件の提案があり1件を採用しており、楽田児童センター2階については、1件の提案があり提案を採用している。	経営改善課	
					○		空き家・空き地バンクを活用して空家等の利活用を行うことができた。継続して空き家所有者に対して利活用を図ってもらえるように、パンフレットの送付など啓発を行っている。	都市計画課	
					○		荒廃農地等利活用促進事業補助金制度により、耕作放棄地の解消を進めている。	産業課	
					○		平成30年度より城下町周縁部及び丸山地区における駐車場シェアの普及啓発に取り組んでいる。 例年、駐車場シェアに関する説明会を実施してきたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症により説明会の実施を見送った。	企画広報課	
					○		場所の資源として、8件を地域資源バンクへ登録した。	地域協働課	
	地域ごとの交流の場形成(交流の機会と場づくり)	063 コミュニティ活動の支援	P72 施策の展開方向3 地域の交流の場や機会形成の支援		○		コミュニティ推進地区助成金を交付し、地域での交流の場づくりを支援した。	地域協働課	
	交通体系の充実(バス等公共交通の利便性向上)	312 バスの利便性の向上	P170 施策の展開方向3 公共交通ネットワークの形成、及び重点事業		○		・時刻表・路線図を改正(医療機関の最寄りバス停名及び路線名、他市町の乗り継ぎを記載) ・GTFSデータを作成し、Googleマップでの検索を可能とした。 ・PayPayでの支払いを可能とした。	防災交通課	
	子育て支援の充実(子どもを持つ喜びを)	173 子どもを育む環境整備	P113 施策の展開方向1~3		○		児童センターの利用促進では、放課後児童クラブを楽田小学校内に移転し、余裕スペースとなった楽田児童センター2階の利活用を図りました。地域特性を踏まえ、主に外国人子どもを対象とした多文化共生事業の実施としました。(R4事業開始) 乳幼児との交流・ふれあい機会の充実では、中学生子育て体験や中学校へ出前事業を予定していましたが、コロナ禍において未実施となりました。 子育て家庭への支援では、新たに子育て支援コーディネート業務の実施や子育て応援情報サイトを開設しています。	子ども未来課	
	地域で支えるまちづくり(高齢者・障害者福祉の充実)	163 地域包括ケア体制の確立	P107 施策の展開方向1 保健・医療・福祉サービスの連携の充実		○		地域包括ケアシステム構築にむけ、生活支援体制整備事業として、つどいの場の提供やささえあい活動の後押しをした。また、ホームページやつどいの場MAPの作成を通じて、周知を図った。	高齢者支援課	
		182 障害者福祉サービスの充実	P118 施策の展開方向1 障害福祉サービスの充実		○		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため外出自粛が求められる中、障害者の日常生活を守るため感染予防に努めながら障害福祉サービスの提供を実施した。通所による支援を在宅での支援に切り替えるなど国からの通知を踏まえた支援方法を取り入れながら必要な支援を行った。 また、感染予防に努めながら障害福祉サービス提供を実施する事業者に対し、感染予防にかかる経費へ応援金を交付することにより事業者への支援を行った。	福祉課	
多様な住まい方の実現(町屋の保存活用、優良田園住宅制度の活用等)	321 暮らしの場・住まいの場の提供	P173 施策の展開方向1~3		○		富岡駅周辺の地域を集落の維持を目的に、誰でも住宅を建築できる地域として、都市計画法に基づく条例(34-11)を制定した。 景観保全の視点からも歴史的建築物の保全についても支援・補助などの拡充を行った。	都市計画課		
				○		歴史的建造物の修理事件の洗い出しを行った。(令和4年度に修理予定)	歴史まちづくり課		

総合計画改訂版重点施策実施状況一覧表(4/4)

①重点施策名	②施策	③該当する総合計画の基本施策番号	④記載箇所	⑤実施状況			⑥R3年度の主な事業内容 (未着手の事業については、初年度に予定している事業)	⑦担当課	⑧備考
				未着手 (予定年度)	実施中	完了			
重点施策3 定住促進 (多様な暮らし ができるまち へ)	効果的な情報発信(見せ方・伝え方の工夫)	043 シティプロモーション	P63 施策043 シティプロモーション		○		分かりやすい表現を心掛けるため、見せ方伝え方クリニックを職員及び市民団体向けに実施。 令和3年3月に実施したトップページを中心としたデザインリニューアルを実施し、スマートフォンからのアクセスを意識した作りとした。令和4年2月にはLINEのリッチメニューを1行3アイコンから2行6アイコンを増やし、市ホームページへ容易にアクセスできるようにした。 タウンミーティングを市公式YouTubeでライブ配信するなど、市の事業を開かれたところで実施することで、新たな層に犬山市への関心を高め、愛着を感じていただくきっかけになる。	企画広報課	
	災害に強いまちづくり(防災力の向上)	221 災害に強いまちづくり	P132 現状と課題、及び施策の展開方向1 都市施設の耐震化推進		○		令和3年度は富岡荒井線において、楽田惣作地内の道路改良工事(未供用、L=193m)を実施した。	整備課	
					○		主要施設である第二加圧所の耐震化に向けて、基本設計業務委託をおこなった。今後は引き続き詳細設計をおこない、工事に着手する予定。	水道課	
						○	管きよ耐震化事業(可とう継手設置)、マンホールトイレ設置(犬山高校)	下水道課	
		222 防災体制の充実	P133 施策の展開方向1、2		○		平時から食料や資機材の物資備蓄を進め、災害時に備えている。また、年に一度、地域住民に参加を促し、総合防災訓練を実施し、市で備蓄している資機材等の取扱い訓練等もメニューに組み込んでいる。	防災交通課	
		223 防災意識の高揚と防災体制の育成強化	P135 現状・課題、及び施策の展開方向2 自主防災組織の育成		○		自主防災組織における活動の活性化を促すため、資機材購入費等に対して補助を行っている。また、自主防災組織未設置の町内に対しては、設置を支援するため、新規設置時に、ヘルメット等防災資機材の支給を行っている。	防災交通課	
財政運営の適正化	051 財政運営の適正化	P64 施策の展開方向1 計画的かつ効率的な財政運営		○		・実施計画をベースに財政計画を策定し、議会を含む全庁的な情報共有を行ったうえで、令和4年度予算を調製した。 ・財政健全化法による判断比率の分析と公表を行った。	経営改善課		